

6月の果実の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
すいか類		8,661	102	9,131	207	96	192	0	-	大玉すいかは千葉産を中心に熊本、鳥取産の入荷となる。6月下旬に熊本産は減少するが、鳥取産がピークになるため、入荷量は安定の見込み。小玉すいかも茨城産が作柄回復したことで不足感は解消。全体的に入荷量は前年並み、価格はやや前年を下回る見込み。
メロン(アンデスメロン)		805	105	1,237	385	96	348	10	1	茨城産中心の入荷。メロン類全体の作付減少が続いており、作柄が良好でも前年を下回る傾向があったが、6月は前年をやや上回る入荷量となる見込み。アンデスメロンは5月下旬にかけてピークが続き、6月前半までは潤沢な出回りとなり、例年通り6月中旬に終了予定。干ばつ気味であるので糖度高く、食味良い。玉肥大も良く、カット販売なども計画しやすい。価格は高値であった前年をやや下回る見込み。
おうとう		683	112	982	2,077	93	1,759	571	84	山形産が全体の約8割を占める。開花および、開花以降の好天に恵まれて各地とも着果量は十分に確保できており、作柄は良好。先行の山梨産が遅れ気味で、山形産が若干前進気味なことから、6月中旬の入荷が例年より増える可能性もあり、販売対策が必要。全体の入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。
ぶどう(デラウエア)		430	100(島根)	506	1,127	102	1,034	2	0	島根、大阪産中心の入荷となる。燃油の高騰もあって全般に生育は遅れ気味であるが、入荷量、価格ともに前年並みの見込み。山梨産は雪害で前年を大きく下回る入荷量だが、7月以降の露地もので前年並みになる見込み。